

令和7年度 先進都市視察 報告書

大阪府南部市議会議長会

報告市議会	貝塚		市議会			
報告者	議長	阪口 芳弘	副議長	田畑 庄司	事務局長	西阪 和隆
視察日時	令和7年8月6日(水) 13:00～15:00					
視察先	神奈川県茅ヶ崎市					
視察内容	議会改革の取組みについて					
概 要	最初に、茅ヶ崎市議会岸議長、南部議長会からは会長市の泉南市議会堀口議長から挨拶があり、角田議会事務局長から茅ヶ崎市の紹介がありました。その後、議会議会改革の取組みについて、議会事務局 議事調査担当の藤原主幹より、まず茅ヶ崎市議会における議会改革の流れについての説明を受けました。茅ヶ崎市議会では、任期を2年とし、総務、都市経済、文化教育、環境厚生の4つの常任委員会を設置し、政策討議テーマを設定し、各常任委員会にて度重なる討議を重ねることで「議長から市長への政策提言」を行っており、平成25年度からこれまでの各常任委員会活動が取り組んできた政策討議テーマが紹介され、その政策提言の実際の施策への反映などの説明を受けました。その後、議会活動としての議会報告会・意見交換会について、平成23年4月施行の議会基本条例に議会報告会を開催することを規定し、その運用の検討にかかり、予算・決算の審査報告の時期に年2回開催することを決定し、その後もその運用については、適宜見直しを行っている状況が説明されました。現状では、オンラインでの参加も可能であり、その対象も中学生以上からにするなど、その運用方法及び周知について詳しい説明がありました。そのほか、決算審査での事業評価の実施についてや災害時の議員安否確認等訓練などの紹介がありました。その後、質疑が行われ、無事視察を終了しました。					

所 見

○ 議会改革の流れについて、「議長から市長への政策提言」の仕組みが形成されており、常にその取り組みを行っていることに驚かされました。本市議会でも、市長部局への意見書や議会提案の条例を作成するなど、市長部局での政策課題について、検討し提言を行っていることはありますが、その時々には議論される政策課題について、市長部局の取組状況が本市議会としてさらに踏み込んだものとなるように行っているところです。しかし、茅ヶ崎市議会では、各常任委員会の任期を2年とした上で、各常任委員会ごとに政策課題を追及し、その課題解決に積極的に関与しようとする姿勢を示していることがわかりました。こうした常日頃から取り組む姿勢を市内外に示すことにより、市議会の積極的な活動を示せることがわかりました。

○ 議会報告会や意見交換会について、本市議会でも、様々な形で、市民に開かれた市議会となるように研究しているところです。これまでこうした開かれた市議会の形については小学生などの議場見学や子ども議会などの取り組みがあり、部分的ではありますが、本市議会でも取り組んでいるところです。茅ヶ崎市議会の「議会基本条例」に議会報告会を規定するなど、積極的に市民に議会の活動を知ってもらう取り組みを行うことで、親しみやすい市民に開かれた市議会となるようにしていことがわかりました。また、オンラインやSNSを積極的に活用したことによりさらに効果を上げていることも、大きなポイントであると考えます。茅ヶ崎市議会を参考に本市議会でも取り組める形を検討したいと考えています。

令和7年度 先進都市視察 報告書

大阪府南部市議会議長会

報告市議会	貝塚		市議会			
報告者	議長	阪口 芳弘	副議長	田畑 庄司	事務局長	西阪 和隆
視察日時	令和7年8月7日(木) 10:00～12:00					
視察先	神奈川県横須賀市					
視察内容	議会改革の取組みについて					
概 要	まずはじめに、横須賀市議会土田副議長、続いて南部市議会議長会泉南市議会の堀口議長の挨拶があり、その後、横須賀市議会事務局 小菅局長から横須賀市の概要について説明がありました。 まず、今回のテーマであります横須賀市議会実行計画について、「～未来への羅針盤～」として、令和5年5月からの取り組まれています。平成28年4月の議員研修会から始まり、平成29年3月の議会基本条例改正案で政策検討会議の設置を決定するなど、横須賀市議会のスピーディーな動きに驚かされます。そして、その政策検討会議の位置づけや目的を明確にすることで横須賀市議会の意欲が感じられます。また、設置された政策検討会議のPDCAサイクルを意識し、政策への反映と改善を確保していることに驚きます。さらに驚かされるのは、政策立案課題について会派ごとに採点を行っていることです。こうした取組みにより政策課題への優先度や市民への貢献度が図られ、市民にアピールできる取組みになっていると思います。市民に身近に感じてもらえる市議会にするために本市議会でも、横須賀市議会の取組みを参考にさせていただきます。 次に、横須賀市議会災害時業務継続計画(BCP)について説明がありました。こちらのBCPでも策定の経緯から説明がありましたが、横須賀市議会のスピーディーな対応が目を引きます。平成28年4月の熊本地震を教訓にするために策定を計画し、平成29年3月までの間に計9回の検討会を開催しています。さらに計画の見直しについても頻繁に行われており、横須賀市議会議員の意識の高さに驚かされます。さらに、BCPに基づくフロー図のわかりやすさと訓練からの教訓の活かし方や、SNSを通じた情報の共有方法とその管理区分の徹底により、市災害対策本部との議会の関係性が明確なされていることが大きいと考えます。本市議会でも今後、災害時の対応についてBCPの作成などを積極的に取り組んでいきたいと思っています。					

所 見

○ 政策検討の過程を明確にしていることや、その周知方法について、体系的に整理されていると思います。横須賀市議会実行計画はとても素晴らしい市議会の横須賀市民の市議会に対する期待に答えるための大きな指針に違いないと思います。PDCAサイクルにより、具体的な検証作業及びその改善に向けた取組みにまで及んでいることがたいへんよくできている計画であると思います。本市議会でも政策課題について、意見書や議員に条例提案などの方法に取り組んでいます。具体的に政策立案の過程をこうして明確にすることは非常にいいと思います。横須賀市のこの取組みを参考にして行きたいと思います。

○ 本市では、市議会独自のBCPの制定は行っておりませんが、横須賀市の取組みとその活用のお話をお聞きし、市議会としてBCPの策定は非常に有用であると思い知らされました。今後、本市においても、課題の一つとして検討して行きたいと考えています。

大阪府南部市議会議長会先進都市視察報告

貝塚市議会 議長 阪口 芳弘
副議長 田畑 庄司
事務局長 西阪 和隆

令和7年8月6日から7日にかけて行われた、大阪府南部市議会議長会先進都市視察に参加しましたので、その状況を次のとおり報告いたします。

○ 議会改革の取組について（神奈川県：茅ヶ崎市）

令和7年8月6日(水) 13:00～15:00 場所 茅ヶ崎市役所：茅ヶ崎市議会

冒頭、茅ヶ崎市議会の岸議長から歓迎のご挨拶があり、続いて、南部市議会議長会を代表して当番市の泉南市議会 堀口議長から、視察受入れに対するお礼の挨拶を申し述べました。その後、茅ヶ崎市議会事務局長角田氏より、茅ヶ崎市の様々なスポットの紹介など、茅ヶ崎市に関する紹介がありました。

その後、議会改革の取組について、議会事務局 議事調査担当の藤原主幹より、まず茅ヶ崎市議会における議会改革の流れについての説明を受けました。茅ヶ崎市議会では、任期を2年とし、総務、都市経済、文化教育、環境厚生の4つの常任委員会を設置し、政策討議テーマを設定し、各常任委員会にて度重なる討議を重ねることで「議長から市長への政策提言」を行っており、平成25年度からこれまでの各常任委員会活動が取り組んできた政策討議テーマが紹介され、その政策提言の実際の施策への反映などの説明を受けました。その後、議会活動としての議会報告会・意見交換会について、平成23年4月施行の議会基本条例に議会報告会を開催することを規定し、その運用の検討にかかり、予算・決算の審査報告の時期に年2回開催することを決定し、その後もその運用については、適宜見直しを行っている状況が説明されました。現状では、オンラインでの参加も可能であり、その対象も中学生以上からにするなど、その運用方法及び周知について詳しい説明がありました。そのほか、決算審査での事業評価の実施について、災害時の議員安否確認等訓練などの紹介がありました。その後、質疑が行われ、議場見学を行い、無事視察を終了しました。

議会改革の流れについて、「議長から市長への政策提言」の仕組みが形成されており、常にその取組を行っていることに驚かされました。本市議会でも、市長部局への意見書

や議会提案の条例を作成するなど、市長部局での政策課題について、検討し提言を行っていることはありますが、その時々には議論される政策課題について、市長部局の取組状況が本市議会としてさらに踏み込んだものとなるように行っているところです。しかし、茅ヶ崎市議会では、各常任委員会の任期を2年とした上で、常任委員会ごとに政策課題を追及し、その課題に解決に積極的に関与しようとする姿勢を示していることがわかりました。こうした常日頃から取り組む姿勢を市内外に示すことにより、市議会の積極的な活動を示せることがわかりました。

議会報告会や意見交換会について、本市議会でも、様々な形で、市民に開かれた市議会となるように研究しているところです。これまでこうした開かれた市議会の形については小学生などの議場見学や子ども議会などの取組があり、部分的ではありますが、本市議会でも取り組んでいるところです。茅ヶ崎市議会の「議会基本条例」に議会報告会を規定するなど、積極的に市民に議会の活動を知ってもらう取組を行うことで、親しみやすい市民に開かれた市議会となるようにしていことがわかりました。また、オンラインや SNS を積極的に活用したことによりさらに効果を上げていることも、大きなポイントであると考えます。茅ヶ崎市議会を参考に本市議会でも取り組める形を検討したいと考えています。

○ 議会改革の取組について（神奈川県：横須賀市）

令和7年8月7日(木) 10:00～12:00 場所 横須賀市役所：横須賀市議会

冒頭、横須賀市議会土田副議長、続いて南部市議会議長会から泉南市議会の堀口議長の挨拶があり、その後、横須賀市議会事務局 小菅局長から横須賀市の概要について説明がありました。

まず、今回のテーマであります横須賀市議会実行計画について、「～未来への羅針盤～」として、令和5年5月から取り組まれています。平成28年4月の議員研修会から始まり、平成29年3月の議会基本条例改正案で政策検討会議の設置を決定するなど、横須賀市議会のスピーディーな動きに驚かされます。そして、その政策検討会議の位置づけや目的を明確することで横須賀市議会の意欲が感じられます。また、設置された政策検討会議のPDCAサイクルを意識し、政策への反映と改善を確保していることに驚きます。さらに驚かされるのは、政策立案課題について会派ごとに採点を行っていることです。こうした取組により政策課題への優先度や市民への貢献度が図られ、市民にアピールできる取組になっていると思います。市民に身近に感じてもらえる市議会にするために本市議会でも、横須賀市議会の取組を参考にさせていただきます。

次に、横須賀市議会災害時業務継続計画（BCP）について説明がありました。こちらの BCP でも策定の経緯から説明がありましたが、横須賀市議会のスピーディーな対応が目を引きます。平成 28 年 4 月の熊本地震を教訓にするために策定を計画し、平成 29 年 3 月までの間に計 9 回の検討会を開催しています。さらに計画の見直しについても頻繁に行われており、横須賀市議会議員の意識の高さに驚かされます。さらに、BCP に基づくフロー図のわかりやすさと訓練からの教訓の活かし方や、SNS と通じた情報の共有方法とその管理区分の徹底により、市災害対策本部との議会の関係性が明確なされていることが大きいと考えます。本市議会でも今後、災害時の対応について BCP の作成などを積極的に取り組んでいきたいと思います。最後に議場見学し、視察を終了しました。

政策検討の過程を明確にしていることや、その周知方法について、体系的に整理されていると思います。横須賀市議会実行計画は、横須賀市民の市議会に対する期待に答えるためのとても素晴らしい大きな指針に違いないと思います。PDCA サイクルにより、具体的な検証作業及びその改善に向けた取組にまで及んでいることがたいへんよくできている計画であると思います。本市議会でも政策課題について、議会提案などの方法で取り組んでいますが、具体的に政策立案の過程をこうして明確にすることは非常にいいと思います。横須賀市のこの取組を参考に行きたいと思います。

本市では、市議会独自の BCP の制定は行っておりませんが、横須賀市の取組とその活用のお話をお聞きし、市議会として BCP の策定は非常に有用であると思い知らされました。今後、本市においても、課題の一つとして検討して行きたいと考えています。

以上、大阪府南部市議会議長会先進都市視察の報告といたします。